

第 17 回懇談会における各委員からの主な指摘事項

1. 東日本大震災における活動状況について

- 自治体が住民を守る一義的存在だが、役場自体が無くなってしまった時にそのことを非難しても始まらない。どのようにすべきか個々の対応ではなく地方自治制度全体の中で考えていくべき。
- 釜石の事例等を考えると、訓練の重要性は強調してもしすぎることはない。自治体毎に連携が上手くいっているところとそうでないところがあり、今後共同訓練の中で改善して欲しい。
- 初動対応で重要な役割を果たす消防団活動を充実強化し、住民のリーダー役として地域の防災力を高めていくことが重要。
- 消防団員の犠牲が美談となってしまうと、団員自身が身を守る行動が取りにくくなる。どこまでやるかガイドライン的なものがあると良い。
- 東海・東南海・南海の3連動地震では5～6分で津波が来る。単に逃げるだけで防災行政無線を沈黙させてしまっては勿体ない。

2. 国民保護関連について

- 長崎の国民保護訓練の事例（外国人への対応）は素晴らしい。これだけ良いものがあるなら全国的に共有していくべき。

以上